

2022年度 須磨学園夙川中学校入学試験

国 語

第 1 回

(注 意)

解答用紙は、この問題冊子の中央にはさんであります。まず、解答用紙を取り出して、受験番号シールを貼り、受験番号と名前を記入しなさい。

1. すべての問題を解答しなさい。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 字数制限のある問題については、記号、句読点も1字と数えること。
4. 試験終了後、解答用紙のみ提出し、問題冊子は持ち帰りなさい。

学校法人 須磨学園 夙川中学校

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

親も教師も、子どもをりっぱな人間にしようとしている。

だが、どういう人間がりっぱかということになると、意見がわかる。人間の理想像^Aをえがくとなると、さしさわりのないようにということ、抽象的^{ちゆうしやうてき}なものになってしまう。

誠実^{まこと}とか、端正^{たんせい}とか、寛容^{かんよう}とか、忍耐^{にんたい}とか、慈愛^{じあい}とかは、まじめにいいシシツ^aではあるが、そういうものをもった人間が目のまえにいとしても、彼^{かれ}が I のさしせまった問題をどうとくか、そこからでてこない。

II のさしせまった問題に、はっきりした答えをだせる人間が理想像とすると、そういう人間は政治的人間であり、はたして、そういうタイプの人間が子どもがおとなになるころも、正解をだしつづけるかどうかあやしい。

将来においてどういう人間がりっぱかということは、おあずけにして、現在^{いま}りっぱな子どもであってほしいと、たいいていの親や教師はかんがえる。

そうなると、現在の親や教師のものさしで子どもをはかることになる。

親や教師のいうことをよくきくすなおな子であってほしい。

これをよみなさいといって親が買ってあたえたドウワの本^bを熱心^{ねっしん}によんで「俗悪^{ぞくあく}」なマンガシユウカンシなど目もくれないような子であってほしい。

職員室の前まできたら走るのをやめて、ぬき足さし足で静かにあるいてくれるような規則をまもる子どもであってほしい。

そういう子どもは、親や教師の現在の期待をみたしている点では、りっぱな子どもだ。

だが、心のなかにものさしをもっているのは、おとなだけとか¹ぎらない。子どもだつて子どもなりにものさしを心にもっている。

自分のそとにおこつてくる事件にたいして、どういうあてがい方をすれば、ものさしではかれるかは、ものさしの所有者だけが知っていることである。自分で自分のものさしを全然つかったことのない人間は、ものさしをもっていることすら忘れてしまう。

子どもにたいして、おとなのものさしではかったものだけをあてがって、子ども自身にもものさしをつかう機会をあたえないのが、現在の教育だ。

朝おきてから寝るまで子どものそばにおとながつきつきり、箸^{はし}のあげおろしから、クツのぬぎ方までいちいちサシズ^dする。

散歩にでるときは親が手をつないで誘導^{ゆうどう}する。児童公園の砂場でシヤベルをもつてトンネルをほっているときも、親がベンチからみている。

幼稚園^{ようちゆうえん}にいくときは通園バスがむかえにくる。バスのなかですわる席を先生が指定する。園での「おあそび」はカリキュラムにかかっている筋書どおり、きまった指導法できまった目的にむかつてすすめられる。

子どもは自分の心^{こころ}のものさしをつかうときがない。

小学校にいても、中学にすすんでも、受験準備というおとなの設定した計画からはずれることは、ゆるされない。

おとなのものさしできまったことだけをまもった「りっぱ^e」な子どものなかから、名門校にすすむ人間がでてくる。

名門校をでた人間は、社会の「^{注5}枢要な」地位につく。

それで親も教師も、自分の心のものさしの正しさが証明されたと思ってしまう。

おとなの心のものさしを子どもにおしつけることが教育だと信じてうたがわれない。

だが社会の「枢要な」地位についた人は、はたしてりっぱな人間か。

彼らは転変のはげしいいまの社会に、うまく適応できるしなやかな政治をやっているだろうか。

世界の各地に「進出」して自分の心のものさしだけかんがえて、その土地の人の心のものさしを無視していないか。

人間はめいめいが心のなかにものさしをもっていて、どの人間にも自分のものさしをつかうケンリ^cがあることを、彼らは知らないでないか。

それがおとなの教育の結果である。

おとなは「しつけ」や教育について、思いあがったかんがえをもっている。

おとなの心のものさしを子どもにおしつけることで、人間がつくれると思っている。

たしかに、おとなのものさしだけで人間はつくれる。しかしりっぱな人間はつくれない。

りっぱな人間は、自分のすることに責任をもっている。自分のすることに責任をもつためには、自分のものさしではかって、自分で設計せねばならぬ。

おとなのものさしによってしかうごかない子どもは、わるいこと^カがあつたら、みんな人のせいにする。なんでも人のせいにする人間はりっぱとはいえない。

りっぱな人間に子どもがなつてくれることをのぞむなら、子どもに自分のものさしをつかう機会をあたえねばならぬ。

おとなは子どもにたいして、もっと謙讓^{けんじやう}でなければならぬ。子どもの心にはかないものを、もっと大事にしなければならぬ。

(松田道雄『子どものものさし』による)

注1 端正 … 整っていること。

注2 寛容 … 心が広く、よく人をゆるし受け入れること。

注3 忍耐 … たえしのぶこと。

注4 慈愛 … かわいがり、愛すること。

注5 枢要 … 物事を動かす中心や大事なところ。

1の設問

問一 「理想」(——線部A)とありますが、この言葉の対義語が、**I**、**II**に入ります。その語を漢字二字で答えなさい。ただし、**I**、**II**には同じ語が入ります。

問二 「現在りっぱな子ども」(——線部ア)とありますが、どういう子どもですか。その説明として**適当でない**ものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 親や教師の言うことを聞いて行動し、自分がやりたいと思うことは後でやるようにしておいて、言われたことを一番最初にやっつけていこうとする子ども。
- 2 親や教師の勧めめるものを積極的に取り入れ、自分がやりたいことやしたいことは、親や教師に見つからないようにこっそりやろうとする子ども。
- 3 親や教師が言うことには耳を傾けながら、自分がやろうとしていることのために何をすべきかをよく考えて、計画を立てて実行する子ども。
- 4 親や教師にどのように見られているのかをよく考えて、どのようにすれば親や教師から最もよく思われるかということを考える子ども。
- 5 親や教師が何をしたいのかをよく見て、その希望のために何をすべきかということをよく考えて、最も効率のよい方法を考える子ども。

問三 「子どもなりにものさしを心にもっている」(——線部イ)とありますが、「ものさし」とはどのようなものを例えているのですか。最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 目的意識
- 2 判断基準
- 3 主義主張
- 4 達成意欲
- 5 計画能力

問四 「心のものさしをつかう」(——線部ウ)とありますが、その具体例として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 近くに新しくできたビルがどのくらいの高さなのか気になったので、目測で調べようとしたがうまくいかず、正確な情報が知りたくなったので、電子機器を使って測定しようとする。
- 2 外出して遊びに行くときは、どこにどのように行くかを事前に相談して決めている方が、途中でトラブルに巻き込まれることが少なくなり安心なので、常に両親に決めてもらうようにする。
- 3 学校の宿題が出たときには、先生にアドバイスをもらった後、どのように学習を進めていけばよいか自分で工夫しながら最もよいやり方を見つけることができれば、それを友達に共有するようにする。
- 4 サッカーの試合に出たときにうまくいかないことがあったので、先生にどのようにすればよいかを聞いた後、サッカー経験者の父親にアドバイスをもらい、自分に合うように取り入れる。
- 5 友達とけんかをしてしまったときに、どうしてけんかになったのかわからなかったので先生に相談して、自分が悪かったところを改めるようにし、今後教えてもらったことを忘れないようにする。

問五 「りっぱな子ども」(——線部エ)とありますが、その表現の説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 おとなの立てた計画からはずれずいければ、そのうちりっぱになれるはずなので、あえて「りっぱ」と目立たせることでその重要性を強調した表現にしている。
- 2 名門校に進学できたということは、おとなの期待するりっぱな人間であるということなので、あえて「りっぱ」と付け足すことでそのすごさをより強調した表現にしている。
- 3 社会の中心的存在になるだけで、自分がりっぱであると証明されたように思い込んでしまうので、あえて「りっぱ」と言い切ることでその危険性を表現している。
- 4 重要な地位についているというだけで、本当にりっぱであるとは言えないのに、あえて「りっぱ」と誇張することで残念な思いをこめた表現にしている。
- 5 おとなの言うことばかりきいていても、真にりっぱとは評価されないのに、あえて「りっぱ」と強調することで皮肉をこめた表現にしている。

問題は、裏面に続きます。

問六

「思いあがったかんがえ」(——線部才)とありますが、どのようなかんがえですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 子どもが行動するときにはおとなが丁寧^{ていねい}に指導すること
で、早い段階でおとなが考える理想に当てはめることが子ども
の教育には最も効果的だという考え。
- 2 理想的な人間である自分たちを目標とすることによって、
子どもたちが目標とすべき姿を見失うことがないようにす
ることができるという考え。
- 3 悪いものが近づくことがないように追い払う役割をおとな
が引き受けることで、子どもは思うがままに自由に成長する
ことができるという考え。
- 4 りっぱな人間であるおとなが選び取ったよいものだけを与
えることにより、子どもは自分たちの期待通りの優秀な人間
へと成長するという考え。
- 5 おとなたちで決めた理想的な指導を行うことによって、す
べての子どもたちが同じように優秀な人間となり、平等な社
会となるという考え。

問七

「みんな人のせいにする」(——線部力)とありますが、
なぜですか。「ものさし」という言葉を使って、六〇字以内
で答えなさい。

問八

~~~~線部 a く ● のカタカナを漢字に直しなさい。

【一】小学五年生の美咲は、うまく話すことができないせいで友だちがいなかった。唯一の友だちであった飼い犬のレオンが死んでしまつて落ち込んでいたある日、通学路の花屋で、レオンとよく似た犬、ピリーと出会う。次の文章は、理由を説明することもなく、ピリーを欲しいとお願ひした美咲に対して、花屋のおねえさんが、自分とピリーとの思い出を語つて聞かせた後の場面である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

それまで、ふつうに話していたおねえさんが言葉につまつた。わたしの心臓が、ドキンとはねる。

おねえさんは目に光るなみだを、そつとぬぐっていたのだ。

おとなのひと、それも、家族や親せき以外のひとのなみだを見たのは、生まれてはじめてのことだった。

おねえさんは、ふう、と息をはき、おちつきを取りもどすと、また話しはじめた。

「前の日まで元気だったのに。おばあちゃん、とつぜん天国へいつてしまつたんだ。私が両親といっしょに発見するまで、おばあちゃんのそばにはじつとピリーがついていたの。もう冷たくなつたおばあちゃんに、ぴつたりよりそつて。

こんなことになつて、私たち家族は、おばあちゃんといっしょに住まなかつたことを、すぐく後悔したりもした。でも、さいごまでピリーがそばにいてくれたんだもの。しあわせだつたんだよねつて思うことにしたんだ。ピリーも、ほんとうは、あの瞬間、どれだけ心細かつたか。それでも、さいごまで堂々とおばあちゃんに忠誠をつくすつて、なんてりつぱなんだろうと思つた。だから

ら、今度は私が、ピリーがおばあちゃんのもとへいくその日まで、ずつとそばにいたいと思つてるの」

おねえさんの話を聞きながら、わたしの頭のなかには、レオンがいた日々がよみがえつていた。

同じなんだ。

飼い主が犬をたいせつにする気持ち。

犬が飼い主をたいせつにする気持ち。

わたしだけじゃない。

みんな、同じなんだ。

おねえさんは、ピリーの頭のとつぺんの、少しくぼんだところをなでながら言つた。

「ピリーは、今度のたんじょう日が来たら、十四歳になるのよ。小柄だから、まだ子犬だつてまちがわれることもあるんだけど、実は、けつこうおじいちゃん」

レオンが死んだのは、十三歳だつた。今のピリーと同じ年だ。わたしだつて、犬にも平均寿命というものがあることは知っている。

そうなると、ピリーは……。

悲しくて、考えたくないことだけれど、それはどうしようもないことだ。

ぜつたいにさけては通れないこと。

「美咲ちゃん、なにがあつてもピリーはあげられないんだよ」

おねえさんが、まっすぐにこちらを見すえ、きつぱりとそう言いきつたとき、寒さで冷たくなつていた体が、かあつとあつくな

つた。

わたしは、一秒でもはやくこの場から姿を消したくて、お店を飛び出していた。

「美咲ちゃん！」

おねえさんがさけぶ声が聞こえてきたけれど、後ろを見ることなんかできやしなかつた。

わたしは、家へ向かつて走つた。

悲しくて、くやしくて、恥ずかしくて、なさけない。

いろんな気持ちが胸のなかで、洗たく機にほうりこまれた洋服みたいに、ぐるぐるまわつて、からみあつていく。

なぜ、こんなにかんたんなことがわからなかつたのだろう。

遠くでゴロゴロ……と雷が鳴つた。

あたたかい春がやってくる前には、雷が鳴ることがあると天気予報で言つていたのを思い出した。

この季節の雷も、夏の雷と同じように雨がザーツとふつてくるのだろうか。

わたしは、走るスピードをはやめた。

ちよつとだけ立ちどまつて、よく考えたらわかつたことだつたのに。

できることならば、『はしもと生花店』に行つて、ピリーをください、と言おうと決心したときまで時間をもどしたい。

もしそうできたなら、わたしは、決してこんなにおろかなまちがいをしたりしないから。

なぜ、気づくことができなかったの？ わたし。

わたしがレオンを大好きでたいせつだと思つると同じで、おね

えさんだつて、ピリーを大好きでたいせつで……それを、かんたんにひとにあげるなんてこと、ぜつたいにできないつて、なんでわからなかつたの？ わたし。

わたしが、わたしがつて、自分のことだけしか考えずに。

自分の想像力のなさが、わたしはとても恥ずかしかつた。

わたしは、おねえさんのやさしさにあまえ、それを利用してしようと、ずるいことを考えていたんだ。

ピリーはあげられない、とおねえさんに、きつぱりと言われたときに、はつと気がついた。

わたしは、おねえさんなら、わたしのために、きつとピリーをゆずつてくれるだろうと思ひこんでいた。

だつて、わたしは、レオンが死んでしまつて、こんなに悲しいんだもの！

そんな自分はやさしくされて当然だから、おねえさんだつて、きつと言うことを聞いてくれるつて思ひこんでいたんだ。

なんておそろしい思ひこみなのだろう。

おねえさんは、わたしの悲しみのことなんて知らないというのに。

そして、おねえさんがわたしの悲しみを知らないのと同じで、わたしも、おねえさんとピリーがこれまで積み重ねてきたものを知らなかつた。知らなくても、それを想像してみることはできるのに、わたしはそれをしなかつた。

自分が持つ「みにくい心」を目の前にドン！ とつき出されたような気がする。自分のことだというのに、こんな自分がいやでしかたない。だつたら、それを見せられたおねえさんとピリーは、

本文は、裏面に続きます。

どんな気持ちだっただろう。きっと、わたし以上にいやな気持ちになったにちがいない。わたしが、そうさせてしまった。

キ もう二度と『はしもと生花店』には行けない。行ってはいけないんだ、わたしは。

それくらい、ひどいことをしてしまった。

おねえさんにも、ビリーにも。

ふたりの後ろにある、わたしが知らなかったたいせつなこと。

わたしはそれを、ビリーをください、というむちやくちやなおねがいでめちやくちやにこわしてしまったんだ。

わたしが、こんなにいやな人間だと知ったら、レオンはどう思うだろう。

きっと、きらいになる。そうに決まっている。

だって、わたしもこんな自分、大きらいだから。

ク 頭の上でゴロゴロ鳴っている雷。

もしかして、天国のレオンがわたしにがっかりして泣いているのかもしれない。

(吉田桃子『夜明けをつれてくる犬』による)

105

100

95

## 二の設問

**問一** 〓線部 a c の本文中の意味と同じような意味になる言葉として、最も適当なものを、後からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

- a** 言葉につまった
- 1 暗黙
  - 2 絶句
  - 3 黙秘
  - 4 禁句
  - 5 無口
- b** 忠誠をつくす
- 1 丹精
  - 2 孝行
  - 3 保護
  - 4 敬愛
  - 5 忠義
- c** 日々がよみがえっていた
- 1 想定
  - 2 復活
  - 3 夢想
  - 4 回想
  - 5 思慮

**問二** 「みんな、同じなんだ」(〓線部ア)とは、どういうことですか。最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 さいごまでおばあちゃんのそばにいてくれたビリーを誇らしく思うおねえさんの話を聞いた美咲が、自分もレオンと共に生きていきたかったと考えたこと。
- 2 ビリーとの思い出を我がごとのように語るおねえさんの姿をみた美咲が、ペットではなく家族の一員として、レオンと共に過ごしたかったのだと考えたこと。
- 3 飼い主であるおばあちゃんに寄り添い続けたビリーの話を聞いた美咲が、おねえさんもまた、飼い主としての責任のためにはビリーの面倒を見ていることを知ったこと。
- 4 ビリーが飼い主であるおばあちゃんを看取ったという話を聞いた美咲が、大切な存在との別れを悲しむのは飼い主も犬も変わらないのだと気が付いたこと。
- 5 飼い主であるおばあちゃんとさいごまで過ごしたビリーの話で、自分とレオンの別れの思い出を重ねた美咲に、改めて悲しみが訪れたということ。

**問三** 「そうすると、ビリーは……」(〓線部イ)とは、どういうことですか。最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 おねえさんの言葉で、ビリーの年齢を誤解していたことに気が付いたということ。
- 2 年齢のことを知って、ビリーに残された時間が残り少ないことを悟ったということ。
- 3 ビリーと過ごせる期間が分からないために、不安になってしまったということ。
- 4 ビリーの寿命に気が付いていないおねえさんに、言葉を失っているということ。
- 5 年老いたビリーの姿から思い浮かぶレオンの記憶を追いやるうとしていたこと。

**問四** 「洗たく機にほうりこまれた洋服みたい」(〓線部ウ)について、この時の美咲の心情の説明として、最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 おねえさんの言葉を聞いて、多くの感情が自分のなかに生じ、自分でもどうしたらいいのかわからないまま動揺している。
- 2 おねえさんへの申し訳なさや、自分の過ちへの反省、そして自分が引き起こしたことへの悲しさへと、目まぐるしく移り変わっている。
- 3 いずれ整理されるとはいえ、おねえさんの言葉から受けた衝撃や自分の発言を思い返しての恥ずかしさで、一時的に頭がいつばいになっている。
- 4 自分の願いが真っ向から否定されたことにショックを受けたが、時間と共に自らの間違いに気が付いたことで、罪悪感でかき乱されている。
- 5 おねえさんからの言葉が予想外のものではあったために、どのように答えたらよかったのかわからず逃げ出したせいで、落ち着かずにいる。

**問五** 「なぜ、気づくことができなかったの？ わたし」(〓線部エ)とありますが、「みずから問題を提起し解決すること」という意味にあたる四字熟語を漢字で答えなさい。

**問六** 「なんておそろしい思いこみなのだろう」(〓線部オ)とありますが、美咲はなぜそのように考えたのですか。六〇字以内で答えなさい。

問題は、裏面に続きます。

**問七** 「自分が持つ「みにくい心」を目の前にドン！ とつき出された」(——線部力)とは、どういうことですか。最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 なにも知らないおねえさんだからこそ言えた、遠慮のない指摘に反論ができず、その通りであると納得してしまったということ。
- 2 自分の要求が、いかに相手のことを考えていない身勝手なものであったのかを、誤解がないようにおねえさんに言い含められたということ。
- 3 わがままでといってあしらうことをせずに、きちんと向き合ってくれたおねえさんの誠意から、自らの考えの浅はかさを自覚したということ。
- 4 こちらの言葉に耳を貸すこともなく、ビリーへこだわるおねえさんの姿に、自分がレオンに向ける強い思い込みを見て取ったということ。
- 5 相談した内容が、どれほど自分本位な発言であるかを、おねえさんが、あえて厳しい言い方で、指導してくれたのだと悟ったということ。

**問八** 「行ってはいけないんだ、わたしは」(——線部キ)とありますが、この部分に用いられている修辞法を、解答欄に合うように、ひらがな三字で答えなさい。

**問九** 「頭の上でゴロゴロ鳴っている雷」(——線部ク)という表現には、どのような効果がありますか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 ますます天気が悪くなることを暗示させて、レオンとの死別や、おねえさんからの失望で終わらない、美咲に訪れる苦しみを予告する効果。
- 2 雷の音と、犬の唸り声を重ねることにより、美咲の行いに對して、言葉を持たないレオンとビリーの二頭が抱いた悲しみを暗示する効果。
- 3 春の前の雷であることを、別の場面で説明しておいたことで、美咲を苦しめる状況も、やがて解決するという安心感を与える効果。
- 4 雷の音を描写することで、薄暗く曇った場面を読者に想像させ、深い悲しみに落ち込む美咲の心情をそれとなく読者に伝える効果。
- 5 雷という気象条件や、春という季節を本文中で設定することによって、読者の中に具体的な場面を思い浮かばせることができるという効果。



↓ここにシールを貼ってください↓

|      |  |  |  |
|------|--|--|--|
| 受験番号 |  |  |  |
|      |  |  |  |

|    |  |
|----|--|
| 名前 |  |
|----|--|

### 須磨学園夙川中学校 第1回入学試験 解答用紙 国語

|   |    |    |    |    |    |   |   |   |    |   |
|---|----|----|----|----|----|---|---|---|----|---|
| ※ | 問八 | 問七 | ※  | ※  | ※  | ※ | ※ | ※ | 問一 | ※ |
|   | d  | a  |    |    |    |   |   |   |    |   |
|   | e  | b  |    |    |    |   |   |   |    |   |
|   |    | c  |    |    |    |   |   |   |    |   |
|   |    |    | 60 | 40 | 20 |   |   |   |    |   |

(※の欄には、何も記入してはいけません)

一

|   |    |   |    |   |    |   |    |    |    |   |    |   |    |   |    |   |    |   |  |
|---|----|---|----|---|----|---|----|----|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|--|
| ※ | 問九 | ※ | 問八 | ※ | 問七 | ※ | 問六 | ※  | 問五 | ※ | 問四 | ※ | 問三 | ※ | 問二 | ※ | 問一 | ※ |  |
|   |    |   |    |   |    |   |    |    |    |   |    |   |    |   |    |   | a  |   |  |
|   |    |   |    |   |    |   |    |    |    |   |    |   |    |   |    |   | b  |   |  |
|   |    |   |    |   |    |   |    |    |    |   |    |   |    |   |    |   | c  |   |  |
|   |    |   |    |   |    |   | 60 | 40 | 20 |   |    |   |    |   |    |   |    |   |  |

(※の欄には、何も記入してはいけません)

二

※

※

※

